

平成21年12月21日

消費者庁  
福島 みずほ 大臣

社団法人 大森医師会  
社団法人 蒲田医師会  
社団法人 田園調布医師会

## 加工食品に、飽和脂肪、トランス脂肪、コレステロールの含有量の表示を義務づけるための要望書

日本人の脂肪摂取量は増加し、メタボリックシンドロームが問題になっています。過去 30 年で肥満児は約 3 倍に増加しました。厚生労働省の「平成 18 年国民栄養健康調査」では、20 歳代若者の 5 人に 1 人に脂質異常症が疑われています。糖尿病の患者さんも過去 40 年で約 20 倍に増加しました。

農林水産省による「国民 1 人・1 日当たり供給熱量及び PFC 熱量比率の推移」の脂肪摂取量は、昭和 40 年は 44.3g(16.2%)でしたが、平成 18 年には 82.4g(29.1%)に増加しています。摂取する脂肪分の内容に配慮が必要です。飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの過剰摂取は、血中コレステロール値を上げ、脂質異常症の原因になります。飽和脂肪・トランス脂肪の過剰摂取は、インスリン抵抗性を惹起して、メタボリックシンドロームや糖尿病の原因になります。飽和脂肪・コレステロールの過剰摂取は、高血圧の原因にもなっています。参考文献(1-7)

世界保健機構（WHO）の指摘では、生活習慣病は先進国だけでなく、すでに、親興工業国、開発途上国でも問題になっています。生活習慣病の原因は解明されてきており、有効な予防対策も出来ています。飽和脂肪、トランス脂肪、コレステロールの含有量表示のある、効果的な食品成分表示を含めた、有効性が証明されている、総合的な取り組みを、親興工業国、開発途上国にも求めています。そして、WHO は生活習慣病予防のため、食事摂取カロリーのうち、飽和脂肪は 10%未満、トランス脂肪は 1%未満、コレステロールは 1 日 300mg 未満とするように勧告しています(8)。厚生労働省の日本人の食事摂取基準 2005 年版にも、飽和脂肪、コレステロールの摂取制限が記載されています。

米国や EU で、加工食品に、飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの含有量を表示

する義務がある国では、消費者は健康に気を付けながら食事ができます(9)。米国では、虚血性心疾患を減らすための政策が施行され、米国人の平均コレステロール値は年々低下し、虚血性心疾患で亡くなる方は、1980年から2000年にかけて半減しました(10)。

米国やEUの外食産業では、飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの含有量を表示していますが、日本では表示をしていません。日本でも、加工食品に、飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの含有量の表示を義務づけて頂ければ、消費者は、何を選べば生活習慣病を予防することができるか判断できます。また食品を提供する側も健康食品の分野を健全に成長させることが出来ます。

大田区三医師会、大田区学校医会は、児童、生徒の健康のために、本年3月に、「学校給食に生活習慣病予防の概念を取り入れるための要望書」を、大田区教育委員会に提出し前向きな回答をいただきました。要望書の内容は、米国、EUの学校給食の基準にある、飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの摂取制限を大田区の学校給食に取り入れていただくお願いです。

国民の健康を守るために、日本でも、加工食品に、飽和脂肪・トランス脂肪・コレステロールの含有量の表示を義務づけて頂きますように、お願い申し上げます。

1. American Heart Association

Fat

<http://www.americanheart.org/presenter.jhtml?identifier=4582>

2. Efficacy and safety of lowering dietary intake of fat and cholesterol in children with elevated low-density lipoprotein cholesterol DISC Study

JAMA 1995;273;1429-1435

3. Low-Saturated Fat Dietary Counseling Starting in Infancy Improves Insulin Sensitivity in 9-Year-Old Healthy Children STRIP Study

Diabetes Care 2006;29;781-785

4. Effects on blood pressure of reduced dietary sodium and the Dietary Approaches to Stop Hypertension (DASH) diet. DASH-Sodium Collaborative Research Group  
The New England Journal of Medicine 2001;344;3-10

5. DIET, LIFESTYLE, AND THE RISK OF TYPE 2 DIABETES MELLITUS IN WOMEN

- The New England Journal of Medicine 2001;345;790-797
6. Association between trans fatty acid intake and 10-year risk of coronary heart disease in the Zutphen Elderly Study  
Lancet 2001; 357: 746-51
  7. High Levels of Industrially Produced Trans Fat in Popular Foods  
The New England Journal of Medicine 2006;354;1650-1652
  8. DIET, NUTRITION AND THE PREVENTION OF CHRONIC DISEASES/Population nutrient intake goals for preventing diet-related chronic diseases. Report of a Joint WHO/FAO Expert Consultation Technical Report Series, No916  
2003 World Health Organization.  
[http://www.who.int/hpr/NPH/docs/who\\_fao\\_expert\\_report.pdf](http://www.who.int/hpr/NPH/docs/who_fao_expert_report.pdf)
  9. How to Understand and Use the Nutrition Facts Label  
U.S. Food and Drug Administration  
<http://www.fda.gov/Food/LabelingNutrition/ConsumerInformation/ucm078889.htm>
  10. Explaining the Decrease in U.S. Deaths from Coronary Disease, 1980-2000  
The New England Journal of Medicine 2007;356;2388-2398